丸の内から、リーターシップの旅に出よう。

Women's Leadership school in Marunouchi

丸の内・ウーマンズリーダーシップスクール

Woman
Business
Diversity
●3つのコンセプト

日本文化　（花押）

望月 鶴川氏

2017年3月7日（火）
18:50－20:05　　20:15－21:30

テーマ

花押を通して、自国の文字文化の理解を深め、歴史を知り、自身のアイデンティティーを表現する

目的/ゴール

自分自身に自信を持ち、見つめなおし新たな世界に入る糧として伝統の中の文字文化を理解して内からの力を最大限に引き出すアイディンティーを持つ。

アウトカム

日本の文字文化を深め花押を知り、創り自分の価値を高め、創り方、書き方、意義を学び自身の名前に秘められた深い歴史を知り、習得し、自分自身をより深く高める。

具体的内容

前半は歴史を含め、日本の文字文化を知り、文字の成り立ちと人の歴史との関わりを学びます。
後半はご自分の名前などから花押を創作していきます。
創作の中には、その意味、意義、過程を含め、表現法など体験しながら最終創作に繋げます。

●講座概要

日本文化における伝統的なアイデンティティー表現の一つの結晶である花押にフォーカスをあて、グローバルで活躍するために必要不可欠な教養としての自国の文化に対する理解を深めていく講座です。花押の書き方を具体的に学びながら、自身のアイデンティティーを表現した、オリジナルの花押を創作する講座です。

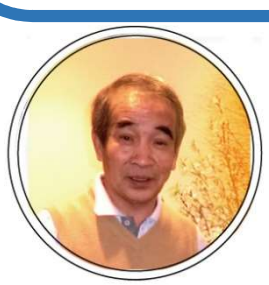
「花押のせかい」こういうサインが書きたかった
2005年「朝陽会」政府刊行本　望月鶴川著

●望月鶴川（もちづき　かくせん）

鶴川流花押　宗主栄昌堂印店 天楽書道会主宰　葛飾区書道連盟理事

1947年　東京生まれ。
1970年　花押制作を始める。
1987年　伝統を基に「花押新書体」4書体の創案
2000年　「鶴川流花押」を創設
2002年　オーストラリアパースにて日本文化の紹介「書道展」開催
2003年　「読売日本テレビ文化センター」金町にて花押講座を開設。
2005年　株式会社朝陽会より政府刊行本「花押のせかい」出版
2007年　「第一回鶴川流花押展」開催　銀座アートスペース」以後毎年開催
　　靖国神社「みたままつり」雪洞展示以後毎年展示
2008年　株式会社クレオ様と業務提携
2009年　株式会社鳩居堂様と業務提携（鳩居堂全支店で花押販売開始）
　　靖国神社揮毫選集の絵葉書に選定される
　　瀧泉寺（埼玉県）十三重宝塔に木簡・写経を納置
　　サークルkサンクス、サントリーと花押コラボ2010年　株式会社有便堂（日本橋）と販売業務提携、小津和紙舗日本橋）と販売業務提携
　　久米繊維工業㈱主催「夢・日本の書Tシャツ展」出展
2011年　銀座で5回目の花押展開催以後毎年開催、日本橋で花押・書道教室開講
2015年　ご朱印デザイン制作プロデュース。靖国。
2016年　8月長野県上田美術館にて「真田丸・花押講座・ワークショップ」作品展示
参考図書：「花押のせかい」政府刊行本・全国官報販売所、「百人一首写歌帖」「古の恋文」・「たけくらべ」「滝廉太郎」「野口雨情」「かたりもじ」電子書籍出版　望月鶴川　著

【創作例】
村田吉隆様（前国務大臣）　山本幸三様（産業通産副大臣、横綱朝青龍関
大道晃仙猊下（曹洞宗総本山総持寺貫首）、知恩院第八十七世門跡　坪井俊映　総裁
三井勝生様（前靖国神社恨宮司）、石田秀芳様（24世本因坊）、㈱藤和不動産様
小町文仁様（能楽協会顧問）、　加藤タキ様（コメンテータ）北大路欣也様（俳優）
岩沙弘道様（三井不動産社長）　小西新太郎様（小西酒造社長）、袖原洋一様（㈱一六堂様社長）
鳥越俊太郎様、　森永卓郎様　落合恵子様、　赤江玉緒様　竹内弘高様（ハーバード大学教授）
その他多数（約10,000点を創作）



わかりやすく実践に即し手を使って書く、その中に人の思い、刻まれてきた歴史、形を超えた見えないエネルギー、ゼロからの力を引き出していきます。

人の歴史を調べるのは、手紙、次に花押と言われています。その花押を現在も大臣は閣議の後の署名に使っています。花押を創り、持つことは生きている証の情熱と情念が加わることです。

3-3 Lab　日本女子経営大学院 Women's Innovation School of Japan